

社団法人 日本美術及工藝統制協會について

同會結成に關し、設立の動機等について、その大體を前號にお知らせしたが、次にその新定款案を紹介する。

社団法人日本美術及工藝統制協會定款案

第一章 總 則

第一條 本會ハ社団法人日本美術及工藝統制協會ト稱ス

第二條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク
必要ニ應ジ支部ヲ置クコトヲ得
支部ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第二章 目的及事業

第三條 本會ハ皇國文化ノ精華タル美術及工藝技術ノ保存並ニ振興ヲ圖リ、之ヲ製作、販賣、交易等ニツキ國家目的ニ即應シタル綜合的指導統制ヲ行ヒ併セテ一般工藝産業ノ健全ナル發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第四條 本會ハ前條ノ目的ヲ達成スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 藝術保存ヲ要スル美術品ノ製作者及技術保存ヲ要スル工藝品ノ生産者ノ認定
- 二 美術品及工藝品ノ原材料ノ配給統制
- 三 美術品及工藝品ノ販賣統制(書畫骨董ヲ含ム)
- 四 藝術保存及技術保存ヲ要スル工藝品ノ認定、之ヲ生産數額ノ割當並ニ其ノ登録及證紙ノ發行

五 技術保存ヲ要スル工藝品ノ検査、格付及販賣價格ノ決定

六 生活必需工藝品ノ改善及規格ノ統一並ニ優良生活必需工藝品ノ選定

七 美術品及工藝品ノ製作ニ必要ナル附屬技術者ノ指導統制

八 美術品及工藝品製作ニ必要ナル用具ノ生産指導並ニ配給統制

九 本邦美術品及工藝品ノ海外紹介並ニ輸出ノ幹旋

一〇 内外ニ於ケル美術及工藝ニ關スル展覽會ノ開催又ハ後援

一一 美術及工藝ニ關スル指導獎勵及調査研究

一二 其ノ他本會ノ目的達成上必要ナル事業

第五條 前條ニ掲グル事業ヲ遂行スル爲本會内ニ部會ヲ置キ、各部會ニ委員會ヲ置ク
委員會ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第六條 本會ノ會員ヲ分チテ左ノ四種トス
一 正會員 二 代議員 三 特別會員 四 賛助會員

正會員ハ左ノ者トス
(イ) 美術品ノ製作者
(ロ) 工藝品ノ生産、販賣又ハ輸出ヲ爲ス者及其ノ團體

代議員ハ正會員ニシテ各部會ノ委員會ノ承認ヲ經タル者トス

特別會員ハ美術及工藝ニ關シ學識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ理事會ノ議ヲ經テ會長之ヲ委嘱ス贊助會員ハ本會ノ目的タル事業ニ協力セントスル者ノ中ヨリ理事會ノ議ヲ經テ會長之ヲ委嘱ス

第七條 正會員ハ會費年額金參圓トス但シ代議員ハ會費年額金拾圓ヲ納ムベシ

第八條 本會ニ入會セントスル者ハ本會所定ノ申込書ニ必要事項ヲ記載ノ上會長ニ提出シ理事會ノ承認ヲ受クベシ

第九條 會員ハ解散、脱退、除名又ハ死亡ニ依リ其ノ資格ヲ喪失ス
本會ヲ脱退セントスル者ハ其ノ旨ヲ具申シ理事會ノ承認ヲ受クベシ

會員ニシテ本會ニ對スル義務ヲ怠リ又ハ本會ノ體面ヲ毀損スル行爲アリタルトキハ理事會ノ決議ニ依リ之ヲ除名スルコトヲ得會員其ノ資格ヲ喪失シタル場合ト雖モ既納ノ會費ハ之ヲ返還セズ

第十條 本會ノ正會員、代議員ハ夫々左ノ五部會ニ屬ス

第一部會(日本畫)、第二部會(油繪、水彩)、第三部會(彫塑)、第四部會(工藝美術)、第五部會(産業工藝)

部會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十一條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長一名、理事一七名以内、監事三名以内

第十二條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長一名、理事一七名以内、監事三名以内

第十三條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長一名、理事一七名以内、監事三名以内

第十四條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長一名、理事一七名以内、監事三名以内